

バイオなどの新技術と学際的研究で循環的未来と地域貢献を



No.
12

2011.5



石川県立大学大学院博士前期
課程第 1 期生学位記授与式

本号の内容

○公立大学法人化	2
○入学式	2
○卒業式・学位授与式	3
○修士論文発表会	3
○プロジェクト研究発表会	4
○最終講義	4
○学生生活	5
○トップセミナー	5
○卒業生の進路	6
○入学試験状況	6

石川県公立大学法人

発行 石川県立大学広報委員会

みなさんのご意見をお待ちしています

インターネットホームページ <http://www.ishikawa-pu.ac.jp/> 電子メール kyoumu@ishikawa-pu.ac.jp

〒921-8836 石川県石川郡野々市町末松 1 丁目 308 番地

電話 / 076-227-7220 FAX / 076-227-7410

公立大学法人化



石川県公立大学法人
理事長 寺西 盛雄

石川県立大学は、この4月から、石川県立看護大学とともに、公立大学法人として新たなスタートをきりました。石川県立大学は、昭和46年に設立された石川県農業短期大学を前身として、平成17年に、生物資源環境学部からなる単科大学として開学しました。農業短期大学時代も含め、40年間、バイオテクノロジーや食品等の分野において、人材育成、地域貢献に着実に実績を積み重ねてきたと考えております。

しかしながら、少子化に伴う学生獲得競争などの大学間競争が激化する環境下において、競争に勝ち抜く魅力ある大学、公立大学として県民から支持される大学となるためには、教育研究、地域貢献といったあらゆる面において、より高い付加価値を提供していく必要があります。このたびの法人化により、自主的な判断による効率的な運営を行える環境が整いました。今後は、この環境を最大限に活用し、学生や卒業生が、「この大学に来て良かった」と思えるような質の高い教育、学生支援を行い、学生満足度の高い大学となることが重要であると考えます。

もちろん、県から独立した法人とはいえ、「県立大学」であることに変わりはありません。公立の大学として、企業等も含めた県民のニーズに応えるべく、研究開発や産学官連携等の地域貢献活動に努めることが重要であると考えます。法人化は決して「ゴール」ではありません。大学を取り巻く厳しい環境下において、県立大学が勝ち残っていくための新たなスタートであります。法人化を契機に、学生や県民からの一層の評価がいただけるよう、理事長以下、役員、教職員が、全員一丸となって取り組んでまいりたいと思います。皆様のご協力・ご支援を心からお願いいたします。

入学式

4月5日午前10時から、本学体育館において138人の学部新生(1年生136人、3年次編入学生2人)と、大学院新生32人(博士前期(修士)課程27人、後期(博士)課程5人)を迎え、本学7回目(公立大学法人化後は初めて)の入学式を行いました。新生には、本学では今年が初めてとなる学部2名と大学院4名の外国人留学生が含まれています。式では新生の一人ひとりの氏名が読み上げられた後、松野隆一学長により入学を許可されました。学部生からは食品科学科の中村早希が、大学院生からは食品科学専攻の有賀梨紗が、新生を代表して「大学の教育方針をよく理解し、学業・学術研究に励む」旨を宣誓しました。

学長からの訓示、谷本正憲石川県知事の挨拶、来賓の栗貴章野々市町長・安田舜一郎石川県農業協同組合中央会会長から祝辞を受け、170人が新たなスタートをきりました。当日は、石川県食品協会会長、本学後援会会長にも御臨席いただきました。



卒業式・学位授与式

3月21日(月)に本学3回目の卒業式・学位授与式を体育館で行いました。卒業生125名(生産科学科40名・環境科学科40名・食品科学科45名)、続いて今回が初めてとなる大学院博士前期(修士)課程修了生18名(生産科学専攻3名・環境科学専攻4名・食品科学専攻8名・応用生命科学専攻3名)一人ひとりに松野学長から卒業証書・学位記(学士並びに修士・生物資源環境学)が授与されました。学長からの「揺るぎない確固とした自己を持って」「艱難辛苦に耐えて(自分に)何が出来るかを考えて進んでほしい」との式辞の後、石川県知事からの告辞、来賓代表として石川県議会議長と野々市町長から祝辞をいただきました。

在校生を代表して食品科学科3年の中川真実が送辞を、卒業生および修了生を代表して食品科学科卒業生寺下聡一郎が答辞を述べました。その後、卒業生代表として生産科学科の泉知里に本学後援会長から記念品(卒業アルバム)が贈られ式を閉じました。

閉式後、知事・教員とともに各学科毎等での記念写真撮影や在校生からの記念品手渡が行われ、喜びと別れを惜しむ歓談の輪が多く見られました。また、夕方には後援会による卒業記念パーティーも行われました。



修士論文発表会

本学大学院博士前期課程1期生の課題研究発表会が行われました。2年間あるいは学部4年生から含めて3年間の研究成果が発表されました。学生たちの熱心な研究発表に対して、その後の質疑応答や討論も大変盛り上がり、予定時間を超過するほどでした。



平成 22 年度プロジェクト研究発表会

平成 22 年度プロジェクト研究発表会が 3 月 4 日に行われました。全学研究、教育改善、地域貢献 4 件、若手研究 4 件、萌芽挑戦研究 2 件、学科等企画 4 件の計 16 件のプロジェクト研究の成果が発表されました。



最終講義

平成 22 年 3 月をもって石川県立大学を退職する生物資源工学研究所の熊谷英彦教授（産学官連携学術交流センター長）の最終講義が 2 月 23 日に行われました。先生の石川県立大学への多大なる貢献に深謝いたします。



熊谷英彦教授
「石川での 7 年間の微生物学」

学生生活

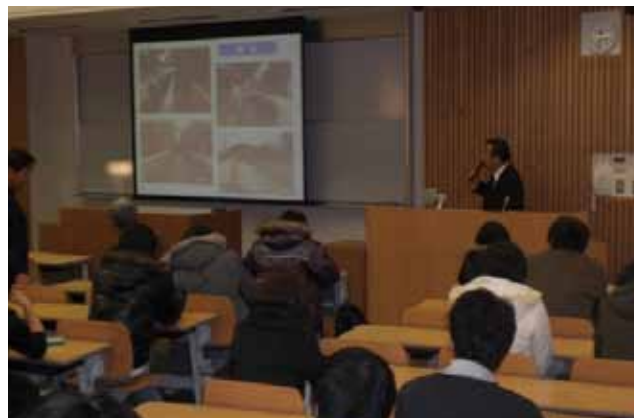
スポーツ実技Ⅱの授業としてスキー合宿に行ってきました。
初心者から中上級者までそれぞれのレベルに合わせて技術を
身に付けました。



平成23年1月5日～7日
長野県、栂池高原スキー場

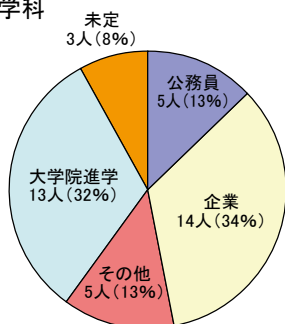
トップセミナー

企業トップセミナーが開催されました。学生への就職の意識を
高めるため、県内で活躍する企業の社長に、就職や就職活動に対
する心構え、またそのために、在学中にどのような姿勢で勉学に
臨むべきかについて、セミナーをしていただきます。昨年度は(株)
オハラと(株)ヤスジマの社長にきていただきました。

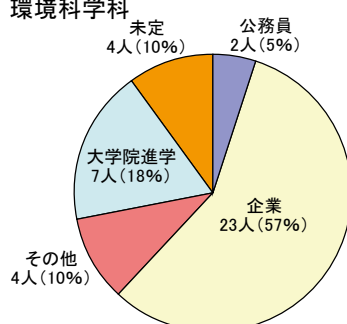


卒業生の進路

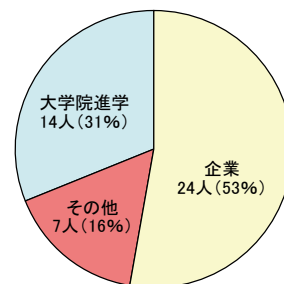
生産科学科



環境科学科



食品科学科



石川県庁、岐阜県庁、金沢市役所、ぶった農産、ジャパンフラワーコーポレーション、JAはくさん、東京大学大学院、千葉大学大学院、本学大学院など

野々市町役場、国土開発センター、大和環境分析センター、いしい林業、琉球大学大学院、山梨大学大学院、本学大学院など

佃食品、六星、コープ石川、芝舟小出、ぶどうの木、竹内製菓、スギヨ、直源醤油、広島大学大学院、本学大学院など

大学院

石川県庁、佐世保市役所、ハチパン、アルプ、協友アグリ、コープケミカル、焼津水産化学協業、インテック、素がきや食品など

平成 23 年度入学試験状況

一般入試

区分	学科	募集人員 (人)	志願者数 (人)	志願倍率 (倍)	受験者数 (人)	受験倍率 (倍)	合格者数 (人)	実質倍率 (倍)
前期 日程	生産科学科	22	68	3.1	64	2.9	31	2.1
	環境科学科	22	63	2.9	61	2.8	32	1.9
	食品科学科	22	66	3.0	62	2.8	31	2.0
	計	66	197	3.0	187	2.8	94	2.0
後期 日程	生産科学科	10	130	13.0	53	5.3	13	4.1
	環境科学科	10	92	9.2	39	3.9	12	3.3
	食品科学科	10	96	9.6	42	4.2	15	2.8
	計	30	318	10.6	134	4.5	40	3.4
	合計	96	515	5.4	321	3.3	134	2.4

推薦入試

区分	学科	募集人員 (人)	志願者数 (人)	志願倍率 (倍)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	実質倍率 (倍)
推薦 入試 A	生産科学科	6	11	1.8	11	6	1.8
	環境科学科	6	10	1.7	10	6	1.7
	食品科学科	6	16	2.7	16	6	2.7
	計	18	37	2.1	37	18	2.1
推薦 入試 B	生産科学科	2	1	0.5	1	1	0.5
	環境科学科	2	0	—	—	—	—
	食品科学科	2	1	0.5	1	1	0.5
	計	6	2	0.3	2	2	0.3
	合計	24	39	1.6	39	20	2.0

大学院第1次募集

区分	専攻	志願者数 (人)	一般 (人)	社会人 (人)	留学生 (人)	志願倍率 (倍)	受験者数 (人)	合格者数 (人)
前期 課程	生産科学	4	4	0	0	0.5	4	4
	環境科学	5	5	0	0	0.6	5	5
	食品科学	10	10	0	0	1.3	10	6
	応用生命科学	5	5	0	0	0.6	5	4
	計	24	24	0	0	0.8	24	19
後期 課程	自然人間共生	1	1	0	0	0.3	1	1
	生物機能開発	1	0	1	0	0.3	1	1
	計	2	1	1	0	0.3	2	2

大学院第2次募集

区分	専攻	志願者数 (人)	一般 (人)	社会人 (人)	留学生 (人)	受験者数 (人)	合格者数 (人)
前期 課程	生産科学	2	2	0	0	2	1
	環境科学	0	0	0	0	—	—
	食品科学	7	6	0	1	7	7
	応用生命科学	2	2	0	0	2	2
	計	11	10	0	1	11	10
後期 課程	自然人間共生	1	0	1	0	1	1
	生物機能開発	1	0	0	1	1	1
	計	2	0	1	1	2	2

大学の動き

11月20日 推薦入試
1月29、30日 大学院(2次募集)入学試験
2月25日 前期日程試験
3月12日 後期日程試験
3月21日 卒業式・学位授与式
4月5日 入学式

<< 編集後記 >>

IPU News(石川県立大学広報)第12号をお届けします。東日本大震災で被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。未曾有の大災害に、無力感を覚えさせますが、近年これほど食糧の安定供給や安全性がクローズアップされたことはないように思います。こんなときこそ石川県立大学の研究や卒業生の活躍が必要とされることと信じて、各々の持ち場で力を尽くしたいと思っています。

石川県立大学広報委員会